

2025年4月、「海洋機械コース」始動。



経験豊富な教員
による指導

国公立大学での長年の研究実績を有す教員や、
造船大手企業での豊富な経験を持つ実務家教員など
充実した教授陣が実践的な指導を行います。



4年間の学び

本格的な海洋
工学や機械工
学の学び

次世代デジタル実習・学
外実習・インターンシッ
プなどの、多様なプログ
ラムによる学びの定着

資格取得を教育
プログラムとし
て支援し、スキ
ルアップ

海洋立国日本の根
幹である、海事産
業をリードする人
材として社会へ

想定される進路(業界・職種)

造船業

海運業

船用工業

機械系製造業

鉄鋼業

非鉄金属・金属製品製造業

電気・情報通信機械製造業

機械器具販売・メンテナンス業などの業界において
研究・開発、設計、生産技術、意匠(デザイン)、サービス・メンテナンスなど

取得を目指す資格

- 技術士補 ●機械設計技術者※
- 2D・3D CAD利用技術者※
- 高等学校教諭一種免許状(工業)

※取得者に受験料補助があります。

海洋機械コース新設おめでとうございます。
今後の発展を期待します。

尾道造船
株式会社

代表取締役社長
中部 隆

常石造船
株式会社

代表取締役社長
奥村 幸生

内海造船
株式会社

代表取締役社長
寺尾 弘志

本瓦造船
株式会社

代表取締役社長
本瓦 誠

向島ドック
株式会社

代表取締役社長
久野 智寛

(五十音順)



福山大学
FUKUYAMA UNIVERSITY

●お問い合わせは
福山大学 工学部・生命工学部事務室
TEL084-936-1674
FAX084-936-2023
kou-seimeijimu@fukuyama-u.ac.jp



福山大学 工学部 機械システム工学科

海洋機械コース 始動。

2025.04
START

福山大学は、本格的な
「海洋・機械工学」
が学べる
中・四国地方唯一
の私立大学
です。

2025年度より機械システム工学科は「海洋機械コース」を新設。
「機械システムコース」との2コース制がスタートします。

※画像はイメージです



福山大学
FUKUYAMA UNIVERSITY

工学部 機械システム工学科

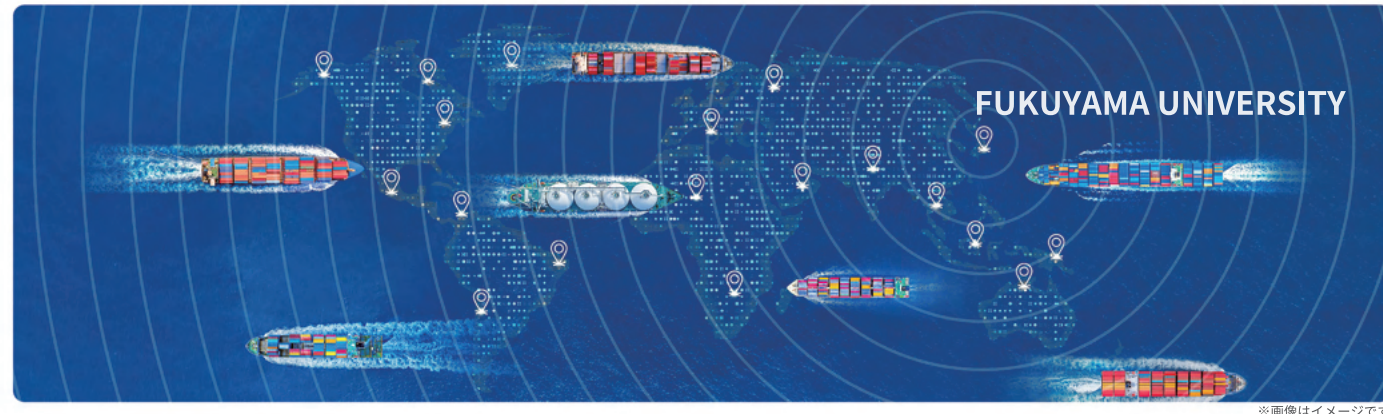
機械システムコース

海洋機械コース
2025年度新設



2025年4月、「海洋機械コース」始動。

「海洋機械コース」新設の目的

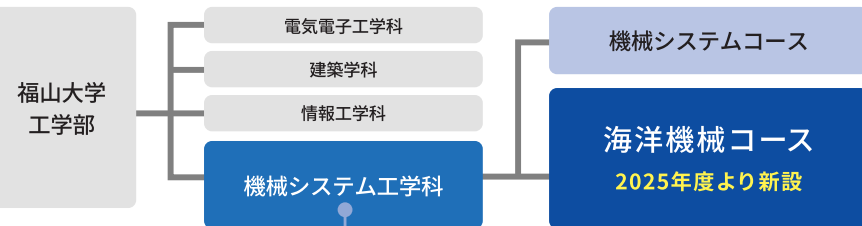


※画像はイメージです

福山大学工学部機械システム工学科は、2025年4月より本学で初めてとなる「海洋機械コース」を設置し「機械システムコース」との2コース制がスタートします。

「海洋機械コース」創設の目的は、海洋機械工学の基礎の確実な修得と、実習による知識の定着により、瀬戸内をはじめとする海洋立国日本の海事産業を支えていく人材を育成すること。卒業後は瀬戸内海地域の海事産業での活躍を通して、世界の海を目指します。

福山大学は、本格的な「海洋・機械工学」が学べる中・四国地方唯一の私立大学です。



機械システム工学科について

ものづくりの基盤である機械工学。本学の工学部・機械システム工学科は、基礎から応用までカバーした多彩な教育や、今後の技術者に求められるデジタル設計に対応した高精度3次元プリンタなどを積極的に活用した実習により、多数の機械技術者を輩出しています。地域に根ざし、社会の要請に応える人材育成を通して、社会の発展に貢献します。



3次元CAD 高速光造形機（高精度3次元プリンタ）

福山大学の強み

《立地》

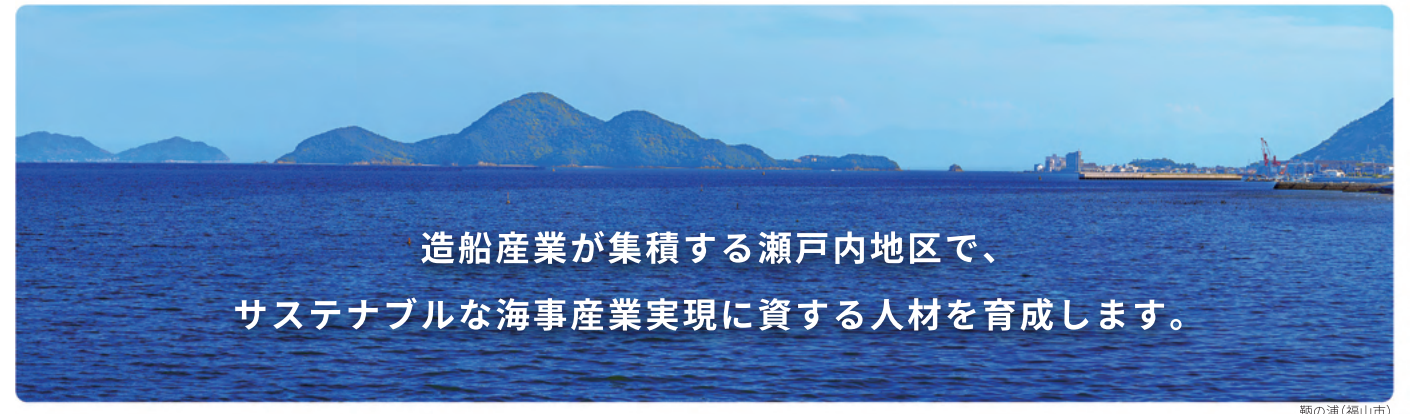


本学は瀬戸内海に面しており、造船企業や海事関係企業が多い立地を活かして、地元企業との連携を図り、海事産業にて活躍できる学びを支援していきます。

《CN教育》

総合大学として福山大学がこれまで培ってきたCN（カーボンニュートラル）の教育を、「海洋機械コース」の学びに活かします。

将来ビジョン

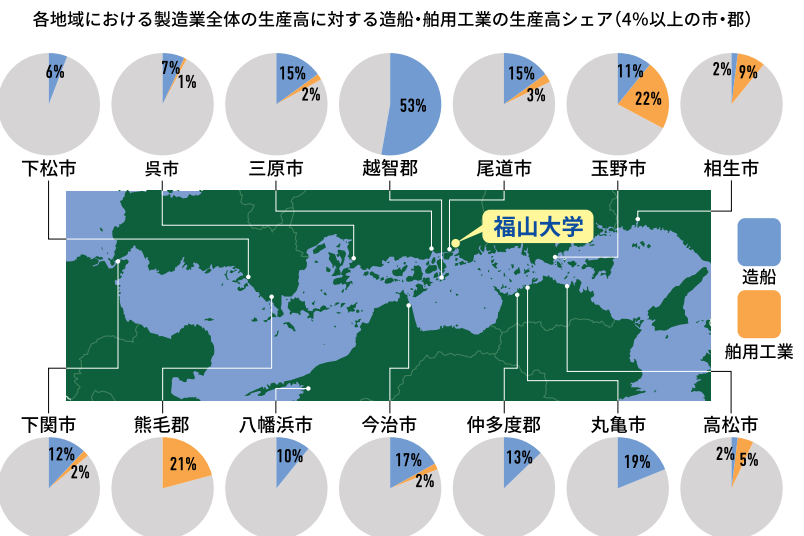


鞆の浦（福山市）

造船産業が集積する瀬戸内地区で、サステナブルな海事産業実現に資する人材を育成します。

DATA

瀬戸内海周辺は造船業・船用工業の集積地帯。地域経済を支えています。



〈出典〉製造業全体：経済産業省「2020年工業統計調査」、造船業及び船用工業：海事局調べ（2020年実績）

海事産業（海運業・造船業・船用工業）の動向



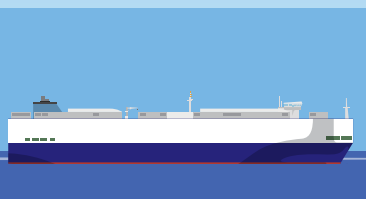
●海上輸送での二酸化炭素排出量は航空機・自動車に比べ低く、鉄道と同等です。また輸送効率が高く、海上輸送への需要は増加傾向にあります。



●2050年までに、世界を行き来する船舶から出る二酸化炭素排出量ゼロの達成を目指しています。



●新しく建造される船舶は、環境対応であることが必須のため、新燃料船（液化天然ガス：LNG）の開発が進んでいます。



●高い技術力に支えられた日本の建造船舶は、中国や韓国の船舶に比べて燃費性能が優れています。

海事産業で求められる人材像

次世代の海事産業の発展に寄与できる人材



船舶の知識だけでなく広く機械工学を理解し、エネルギー問題や環境問題に携われる人材